

回												
覧												

あっちが痛い〜？。

こっちも悪い云わんようにナ！。

医者通い？とギャンブルは程々になあ〜。

五体満足、元気な体で長生き してや〜

年 度	男 子	女 子
1,955(S30)	63.66	67.75
1,965(S40)	67.74	70.19
1,975(S50)	71.73	76.89
1,985(S60)	74.78	80.48
1,995(H7)	76.38	82.85
2,005(h17)	78.56	85.52
2,015(h27)	80.75	86.99
2,020(R2)	81.25	87.32

➡御上^{おかみ}＝厚生労働省は、必死になって「あんな事・こんな事を」

考えておられる？？・・・ので、以下、諸々を説明を？？させていただきますが、ご容赦の程を。

◎介護保険法第4条（国民の努力及び義務）

国民は自ら要介護状態となることを予防するため、加齢に伴って生ずる心身の変化を自覚して常に健康の保持増進に努めるとともに、要介護状態となった場合においても、進んでリハビリテーションその他の適切な保健医療サービス及び福祉サービスを利用することにより、その有する能力の維持向上に努めるものとする。

○上記に関連した厚労省告示第57号(平成30年3月31日)

1. 自立支援、介護予防・重度化防止の推進

…特に高齢者が要介護状態となることの予防又は要介護状態等の軽減若しくは悪化の防止の推進に当たっては、機能回復訓練等の高齢者への働きかけだけでなく、生活機能全体を向上させ、活動的で生きがいを持てる生活を営む事のできる生活環境の調整及び地域づくり等により高齢者を取り巻く環境への働きかけも含めた、バランスの取れたアプローチが重要である。

右上の寿命データ？？もご覧に…

65年間で男子が約17・廿子が約19年の長寿。

その間、身の回りには家電製品の進歩、車社会が発展し、昔の力仕事も機械化され、運動不足になり体力が衰える？。その体弱者に対応する施設や保険制度が出来ましたが、それも利用者の増加で保険料が「うなぎ登り」に??。

そこで、知恵を絞りながら？健康者の増加を願う？。その健康者にも手伝いを願う事に重心がおかれたようで➡右横の様に健康者に助けてエ〜々となっているのか“本音”かな??。



みなさあ〜ん!!!

隣近所の人・知合い・友達、気の合う仲間が集まってゲームをしたり、散歩？・運動で体力維持や囲碁・将棋等で脳を使うことをして、足腰の強化と認知予防などをしながら

介護保険の世話にならないよう

予防をして欲しいのよ〜〜て

云ってるのよ〜ッ？。

4. 日常生活を支援する

体制の整備

単身又は夫婦のみの高齢者世帯の増加に対応し、地域サロンの開催、見守り・安否確認、外出支援、買い物、調理・掃除等の家事支援を含む日常生活上の支援が必要な高齢者が、住み慣れた地域で安心して在宅生活を継続していく為に必要となる多様な生活支援・介護予防サービスを整備していく為に、市町村が中心となって、生活支援コーディネーターや協議体による地域のニーズや資源の把握、関係者のネットワーク化、担い手の養成、資源の創出等を通じ、NPO、民間企業、ボランティア福祉法人等の生活支援・介護予防サービスを担う事業の支援、協働体制の充実・強化を図ることが重要である。

(1)生活支援サービスの充実・強化

生活支援を必要とする高齢者が増加する中、多様なニーズに対応するには、公的機関だけでは十分に行うことが困難となります。ボランティア、NPO、民間企業、協働組合等の多様な主体を生かしたサービス提供を行い、**高齢者自身にも生活支援の担い手として活躍して頂く**ことで、閉じこもりがちな高齢者の社会参加や社会的役割を持つことで生きがいづくり、また介護予防にもつながることが期待されます。

地域の力を活かしていく事ができるように、**生活支援体制整備事業**等を活用しながら、生活支援・介護予防サービスを提供するボランティア団体に対しては継続的な研修を実施し、元気な高齢者の方には地域に貢献する喜びを味わいながら、ご自身の健康づくりに繋げて頂けるような体制づくりを行います。

生活支援体制整備事業って何やねん??.

地域の住民や各種団体、企業の関係者など各方面の人々が連携しながら**いろんな日常生活上の支援体制の充実・強化及び高齢者社会参加の推進を一体的に図っていく事**を目標に高齢者を支える地域づくりを進める社会的な活動？です。

何で?。こんな取り組みが必要やねん?。

昭和20年～25年迄に生まれた人々が75歳になる令和5年や高齢者数がピークになる2040年に向けて**高齢者世帯や認知症高齢者が増加すると想定され、その人達が生活していく上でいろいろの要求も予測され「地域での支え合い」が必要でないか?**。その為に、「**支え合いの地域づくり**」を推進し、高齢化に伴って発生するいろいろな課題に対応してほしいから・・・。つくるのよ?。

自分たちのことは自分たちでやってエ～ナ!!!。介護保険が持たんわ～。

「お互いに助けられたり・助けたり」してゑ～な～

阿弥陀町の皆さんへ

◎ これからは各地区・地域で?知り合い・友人でグループを……

時間の許す範囲で体力づくり(特に膝・腰の強化)を!!!。

(0 毎日30分程度＝散歩・体操などと・・・?)

◎ **体力増強・強化にマシンが必要ならば設置の用意あり、**(場所・スペースが必要)

阿弥陀地区「**支え合い協議会**」が各位と協議

疑問点等相談＝☎ 090-3866-5951 (野々村)